――――― http://www.jactes.or.jp ―――――
一般社団法人教育支援人材認証協会（JACTES）
あそびのタネ通信　VOL. 29　[2017.2.28]

街の木々が徐々にピンクや黄色の小花で彩られ、春はもうすぐそこに来ていますね。
『あそびのタネ通信』VOL.29 お届けします。最後までどうぞ、お付き合いください。

■INDEX■

（1）イベントのお知らせ
（2）講座のお知らせ
（3）コラム　－札幌大学　山田　玲良先生－
（4）青少年体験活動奨励制度
（5）事務局より

◆（1）イベントのお知らせ　◆

◆ 中国学園大学こども学部シンポジウム「絵本のじかん」“あなたにとって絵本とは？”
高校生、大学生、地域の保育者の方を対象に、絵本との多様な関わり方について、岡山県内で活躍されている方をゲストにしたシンポジウムを行います。

日時:2017年3月5日(日) 13:00～15:30 15:30～16:30(ホールでの交流会)
会場:学校法人 中国学園 12号館3階第会議室およびホール
(岡山県岡山市北区庭瀬83番地)
定員:300名(入場料無料)
主催:中国学園大学こども学部
共催:中国学園図書館
＊お問合せは、TEL:086 － 293 － 2831 までお願いいたします。
＊お申し込みはWebフォーム www.goo.gl/pUUfDa より、もしくは「絵本のじかん　参加申し込み」と記載の上、氏名、連絡先を下記までFAXにてお送りください。
FAX：　086 － 293 － 2854

◆（2）講座のお知らせ　◆

◆ こどもパートナー認証講座 in 中国学園
日時:2017年3月28日(火)（21日から変更されました）
会場:学校法人 中国学園 12号館（岡山県岡山市北区庭瀬83番地）
☆3月29日(水)のあそびのタネ展 いちご狩りに行こう! の準備講座です。

◆（3）コラム　◆

本協会にかかわっている先生方からのコラムを毎月お届けいたします。
今回は、札幌大学の山田玲良先生です。

「白紙の答案」

協会運営委員の山田玲良です。ふだんは札幌の観光地、羊ケ丘の近くにある札幌大学で、経済学を教えながら、大学全体の授業方法の改善などにも取り組んでいます。

大学の授業は、今も昔も、試験やレポートによって評価を行います。白紙の答案や提出されなかったレポートは、たとえそれが、毎回の授業に皆勤した学生のものであっても、零点の評価になるのが普通です。しかし、これらの結果には、本当に評価すべき点がないのか、自問することがあります。

学問は、問うことを学びます。問うこと。それは、考えることにほかなりません。結果として答案が白紙であっても、レポートを提出できなくても、学生がその間、試験問題やレポートの課題に取り組み、考えをめぐらせていたとすれば、程度の差こそあれ、問うことは学べていたのではないか。自分でも、そんな風に、問うてしまうのです。

先日、小学四年生の末の子が（彼の様子は二年前のコラムでも紹介させていただきました#^.^#)、学年末に提出する漢字の自習ドリルの年間課題が出ていたことに、今になって気づくという出来事がありました。ところが、彼は、半べそをかきながらも格闘し、提出日には記録的に早起きして仕上げ、登校していきました。

この一件、彼のうっかりをたしなめて、反省させることも大切です。しかし、緊急事態に直面して、いったんは途方に暮れながらも何とか打開策をひねり出し、終わってみれば、「かさは結構、できるんだよね」と、屈託なくほめてもらいたがってくる彼は、自ら何をなすべきかを問い、考えることを学べたという点において、今回、とても好い経験をしてくれたと思います。

「多くを問う者は多くを学ぶ」という言葉があります。自分のせいとはいえ、絶望的な大きさに膨らんでしまった課題に必死に取り組んだ息子の様子を目の当たりにした後では、欠席がちだった学生がコピペを繰り返し、要領よくまとめてきたレポートを評価した成績と、ほとんど皆勤ながら、最後にレポートを提出してこなかった学生につけた成績を見比べながら、どちらの学生がより多く問うていたのかと、改めて考えさせられました。

山田　玲良
札幌大学　副学長

◆（4）平成 28 年度 青少年体験活動奨励制度　◆

★青少年体験活動奨励制度へご参加のみなさま、アドバイザーのみなさま★

本年度の青少年体験活動奨励制度にご参加くださりありがとうございました。
本年度の体験活動にご参加いただき、活動を達成された方・達成予定の方も約３９０名となり、リタイアされた方々もおられますが、みなさん何らかの形で切磋琢磨されたのではないかと思われます。
この制度も４年間を終えようとしていますが、アドバイザーの方々をはじめ、様々な方に支えられて今日を迎えています。心より感謝しております。

※「青少年体験活動奨励制度」のアドバイザーのみなさま、いつもこの制度にご尽力いただきありがとうございます。
さて、高校生・大学生の活動者の方々の体験活動期間も最終段階に迫ってきております。
ご質問や何か困ったことなどがございましたら、JACTES 事務局までご相談ください。
日々の活動支援が大変かと存じますが、どうぞよろしくお願いします。

＜東日本ブランチ事務局＞（本部事務局）一般社団法人　教育支援人材認証協会：JACTES
042―329―7605(TEL&FAX)　info@japan-youth-award.net

◆（5）事務局より◆

先日２月 19 日に東京学芸大学内で開催されました「青少年体験活動奨励制度シンポジウム」に行ってまいりました。
プログラムの中で体験活動に参加してくださった方の活動報告を伺いました。その地域ならではの魅力的な体験活動のお話、日々の生活の中で繰り返し取り組んでいることを記録し、それを見返した時に自己肯定感を得たお話など発表時間があっという間に終わってしまう程の興味深い活動報告でした。最近のこども達は習い事や学習塾通いなど本当に多忙なのですが、その中で自分が日々体験していることを記録に残し振り返る時間もとても貴重なものであると再認識しました。また、特別な体験でなくとも、身近なボランティア活動を地道にコツコツと続けていく力、これも人生の中では大切なものであると感じたひとときとなりました。

一般社団法人　教育支援人材認証協会　事務局
東京都小金井市貫井北町 4-1-1　東京学芸大学内
TEL&FAX ： 042 - 329 - 7605
E-mail ： info@jactes.or.jp
URL ： www.jactes.or.jp
Facebook ： https://www.facebook.com/jactes
